

令和2年度 特別支援学校寄贈物品 使用状況報告書【2年目】

P T A名	静岡県立掛川特別支援学校 御前崎分校 P T A
学 校 名	静岡県立掛川特別支援学校 御前崎分校 <input type="checkbox"/> 視覚障害 <input type="checkbox"/> 聴覚障害 <input checked="" type="checkbox"/> 知的障害 <input type="checkbox"/> 肢体不自由 <input type="checkbox"/> 病弱
設 置 部	<input type="checkbox"/> 幼稚部 <input type="checkbox"/> 小学部 <input type="checkbox"/> 中学部 <input checked="" type="checkbox"/> 高等部
全校児童・生徒数	34名

1. 使用状況

寄贈物品名	電子式ミシン
使用学年及び人数	自主生産作業 手工芸班 12人
使用頻度	毎週2回の作業学習
使用状況	○手工芸班 周2回の作業学習で、クラフトバンドで作ったランチバックの中に入れる巾着袋(30cm四方)作りを行っている。
物品の使用による変化や効果	<ul style="list-style-type: none"> ・作業を分業で行っており、4月当初から取り組んでいる生徒は、半年がたった現在ではミシンの扱いに慣れ、自信を持って取り組む姿が見られている。 ・手順表を作成したことで、注意するところを手順表に自分で書き込みながら、ミスが出ないように注意深く取り組んでいる。製品の質も上がってきており、今後ある販売会に向け意欲的に製品作りむ姿が見られている。
今後の活用の見通しや課題	今後も、ミシンを扱うことができる生徒を増やしつつ、新製品の開発にも力を入れていきたいと考えている。年3回ある販売会を目標に生徒が意欲的、主体的に取り組むことができる製品作りを行っていきたい。
その他希望や所感など	寄贈して頂いたミシンを作業班で活用することができています。今後も大切に使用していきたいと思えます。ありがとうございました。

2. 活用の様子



巾着を作るために、ミシンで布を加工しているところ



今年度は、中の小物が飛び出ないように、ランチバックの中に巾着を作って入れた。この巾着は、取り外しが可能であるため、使う人によってつける、つけないの選択をすることができる。

クラフトバンドで作ったランチバック